

1. 5月全国行事

- | | |
|-------------------|-------------|
| 1) 春の全国交通安全運動 | 5月11日～5月20日 |
| 2) ごみゼロの日 | 5月30日 |
| 3) ごみ減量化リサイクル推進運動 | 5月30日～6月5日 |
| 4) 世界禁煙デー | 5月31日 |
| 5) 禁煙週間 | 5月31日～6月6日 |

2. 安全・衛生・防災の心得 : 新入・転入者と在任者の安全心得

3. 安全衛生巡視 良い事例(抜粋)

4. 他社の事故・災害事例から : 廃材のクギを踏み抜いて破傷風に

5. 今月のヒヤリハット

6. その他

2. 安全・衛生・防災の心得 : 新入・転入者と在任者の安全心得

4月は、新年度の始まりで、職場では協力会社等を含めて、人事異動や組織等の変更、新人・転入者の配属、作業体制の変更などで人心が乱れがちです。とくに新人・転入者の安全作業は協力会社の社員も同様に指導・教育して徹底を図る必要があります。

●分からないことは必ず聞く、聞かせる

始めは分からないで当たりまえ。作業には、長年の経験によるカンやコツなどの「急所」があります。分からないことはよく聞いて、一ステップずつ納得して経験を積むように。

●少しの異常でも上司等に報告する、報告させる

作業中に機械や装置の調子に異常が発生したら、決して自分だけで判断せず作業を中止し、先輩や上司に報告して指示を受ける。

●安全ルールや安全作業手順を守る、守らせる

職場の安全ルール等は過去に発生した事故や災害、予測される事故や災害を防止するために定められています。必ず守るように。

●安全衛生活動等に積極的に参加する、させる

KYT(危険予知活動)や4S(整理・整頓・清掃・清潔)リスクアセスメントなどの安全衛生活動にみんなで積極的に取り組み、推進していく。

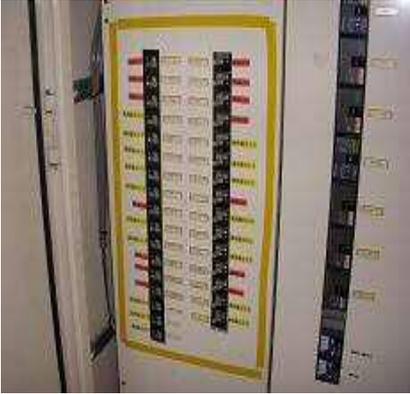
●挨拶は明かに、ホウレンソウ(報告・連絡・相談)は的確に

とくに始業時のミーティング時にはみんなが積極的な態度で臨み、チームワークを活性化させる。

3. 安全衛生巡視 良い事例(抜粋)

関東技術センター宇都宮Gr

毎日最終者が制御盤の電源を切って帰ることにしている。



4. 他社の事故・災害事例から : 廃材のクギを踏み抜いて破傷風に

<災害のあらまし>

終業間際、二人で職場の廃材を廃材置場に運んできて積み重ね中、足元に放置してあった木材片から出ていたクギを踏み抜き、職場の救急箱の薬剤で処置を済ませていたところ、約10日後、破傷風の全身症状が現れて入院し、全治20日間の休業災害になりました。

<災害の主な原因>

- ①廃材置き場の整理・整頓・清掃が悪く、クギが出たままの木材が放置してあったこと。
- ②終業間際のせいた気持ちで、足元などに注意しないで行動していたこと。
- ③微傷でも報告を求め、踏み抜き傷などの深い傷は、病院で受診させるなど、日ごろからの教育やしつけが不足していたこと、など。

<同種災害の防止対策 例>

- ①廃材置き場は、ルールと担当者を決めて3Sを徹底する。
- ②職場の廃材を処理する際は、自分を含め、これらを取扱う人の安全を考えて、クギなどの危険なものは抜くか、打ちつけて危なくないようにしておく。
- ③クギなどを踏抜いて深い傷を負った場合は、化膿や破傷風の危険があるので直ちに病院で治療を受ける。
- ④「ヒヤリ・ハット活動」の定着化を図る。
- ⑤終業時は特に落ち着いて慎重に行動するよう習慣化する、など。

5. 今月のヒヤリハット:各事業場より提出されたヒヤリハットです。危険予知活動に利用してください。

「失くしてからでは遅すぎる 安全・健康 噛みしめよう」

| | |
|-------|--|
| 事例 | サンプル(TP)のバリ取りで、治具が指にぶつかって、手の皮が剥けた。 |
| どこで | 実験室で。 |
| あらまし | サンプルのバリを治具で取っていた時、勢い余って治具が左手の親指にぶつかって、少し皮が剥けた。 |
| 原因 | 処理品が一枚だったため、保護手袋を着用しなかったこと。 |
| 教訓・対策 | 少量の作業でも、保護具を着用すること。 |

6. その他

省エネ、産廃削減活動などを、引き続きお願いします。

「無限じゃないぞこの資源 一人一人がエコ活動」 H27年度環境保全最優秀作品

